

平成21年3月期 第3四半期決算概要

<目 次>

	頁
平成21年3月期 第3四半期決算短信	1
【定性的情報・財務諸表等】	3
1. 連結経営成績に関する定性的情報	
2. 連結財政状態に関する定性的情報	
3. 連結業績予想に関する定性的情報	
4. その他	
5. 四半期連結財務諸表(累計)	
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書(累計)	12
(3) 四半期連結資本勘定計算書(累計)	13
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計)	14
(5) セグメント情報(累計)	15
6. 四半期連結財務諸表(3か月)	
(1) 四半期連結損益計算書(3か月)	17
(2) 四半期連結資本勘定計算書(3か月)	18
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(3か月)	19
(4) セグメント情報(3か月)	20
7. 継続企業の前提に関する注記	21
<参考>平成21年3月期 第3四半期連結決算概要	22

問合せ先 NECエレクトロニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部1753番地

<報道関係> 猪熊/斎藤 TEL (044) 435-1676(直通)
<IR関係> 中西/覚知/林 TEL (044) 435-1664(直通)

平成21年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成21年1月29日

上場会社名 NECエレクトロニクス株式会社
 コード番号 6723 URL <http://www.necel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 遠藤 泰三
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月9日

上場取引所 東

TEL 044-435-1664

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	460,924	△11.7	△15,037	—	△20,118	—	△21,806	—
20年3月期第3四半期	521,751	0.2	4,854	—	3,475	—	△3,968	—

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	△176.57		△176.57	
20年3月期第3四半期	△32.13		△32.13	

(注)1. 1株当たり四半期純利益は米国会計基準第128号「1株当たり利益」に基づいて算出しております。
 2. 当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しておりますが、営業利益は「売上高」から「売上原価」、「研究開発費」および「販売費および一般管理費」を差し引いたものを表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第3四半期	579,389		196,918		34.0		1,594.51	
20年3月期	616,304		227,138		36.9		1,839.20	

(注)株主資本の金額は、「米国会計基準」に基づいて表示しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	555,000	△19.3	△55,000	—	△62,000	—	△65,000	—	△526.32	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注)詳細は、9ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 有

新規 一社(社名) 除外 2社(社名 福井日本電気株式会社、NECセミコンパケージ・ソリューションズ株式会社)

(注)特定子会社の異動について記載しております。

詳細は、10ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、10ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 123,500,000株 20年3月期 123,500,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,306株 20年3月期 2,039株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 123,497,846株 20年3月期第3四半期 123,498,231株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績は、今後の様々な要因の変化により、業績見通しと乖離する可能性があります。

(百万円未満四捨五入)

(参考) 平成21年3月期第3四半期(3か月)の連結業績(平成20年10月1日~平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	127,336	△25.4	△16,243	—	△20,111	—	△19,899	—
20年3月期第3四半期	170,778	△4.0	3,002	—	1,644	—	△936	—

	1株当たり 四半期純利益	希薄化後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△161.13	△161.13
20年3月期第3四半期	△7.58	△7.58

(注) 1. 1株当たり四半期純利益は米国財務会計基準書第128号「1株当たり利益」に基づいて算出しております。

2. 当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しておりますが、営業利益は「売上高」から「売上原価」、「研究開発費」および「販売費および一般管理費」を差し引いたものを表示しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)の連結業績

(単位 億円)

	前第3四半期 連結累計期間 (4～12月)	当第3四半期 連結累計期間 (4～12月)	前年同期比 増(減)	
売上高	5,218	4,609	△608	△11.7%
半導体売上高	4,978	4,410	△568	△11.4%
営業損益	49	△150	△199	-
税引前損益	35	△201	△236	-
四半期純損益	△40	△218	△178	-
米ドル為替レート(円)	118	104	-	-
ユーロ為替レート(円)	162	154	-	-

当第3四半期連結累計期間(4～12月)の連結売上高は4,609億円と、前年同期と比べ608億円(11.7%)の減少となりました。

製品分野別で見ると、すべての分野において売上高が前年同期と比べ減少、特に、コンピュータおよび周辺機器分野、ディスクリート・光・マイクロ波においては、売上高が前年同期と比べ15%以上の減少となりました。

また、為替相場の急激な変動により、前年同期と比べ為替レートが円高であったことも、売上高が減少する要因となりました。

連結営業損益は150億円の損失で、前年同期と比べ199億円の悪化となりました。これは、連結売上高が前年同期と比べ大幅に減少したことなどによるものです。

連結税引前損益は201億円の損失で、前年同期と比べ236億円の悪化となりました。これは、連結営業損益の悪化に加えて、フォトマスク事業の譲渡などがあった前年同期と比べ営業外収益が19億円減少したことや、国内試作ラインの閉鎖などにより営業外費用が18億円増加したことなどによるものです。

連結四半期純損益は218億円の損失で、前年同期と比べ178億円の悪化となりました。

以下、平成21年3月期第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)に係る説明を記載しております。平成21年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信(平成20年7月30日開示)、平成21年3月期第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第2四半期決算短信(平成20年10月29日開示)をご参照ください。

(2) 当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の経済および事業環境

当第3四半期連結会計期間(10～12月)の世界経済は、金融市場の混乱が続く中、実体経済への影響もより深刻なものとなり、世界同時不況の様相となりました。

米国経済は、住宅市場の低迷、金融機関の貸し渋りや企業の雇用調整が継続し、注目されていたクリスマス商戦向けの需要も不振に終わるなど、悪化の一途を辿っております。欧州経済も、米国から飛び火した金融危機が経済全般に波及し、民間需要が総崩れの様相となり、景気の悪化は深刻さを増しております。アジア経済も、エレクトロニクス関連を中心に輸出が大幅に減少し、景気の減速傾向が鮮明となりました。

日本経済については、金融危機の影響自体は、1990年代に同様の経験を経ていることから、国内経済に対する影響は軽微にとどまるものとみられていましたが、海外の景気減速に伴う輸出数量減と急激な円高による輸出採算の悪化などにより、国内製造業の工場稼働や投資が急激に減少したことに加えて、雇用の悪化や景気の低迷により個人消費も弱含むなど、厳しい経済情勢となりました。

このような世界経済の悪化の中、当社の事業領域である半導体市場では、顧客である電気・電子機器業界や自動車業界の需要減や在庫調整に伴う発注抑制の傾向が強まり、顧客の製品売上減を大幅に上回る勢いで半導体の需要が減少しています。この傾向は、昨年10月から12月末にかけて、月を追うごとに顕著となっており、きわめて厳しい事業環境になりました。

(3) 当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の連結業績

(単位 億円)

	前第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	当第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	前年同期比 増(減)	
売上高	1,708	1,273	△434	△25.4%
半導体売上高	1,637	1,227	△411	△25.1%
営業損益	30	△162	△192	-
税引前損益	16	△201	△218	-
四半期純損益	△9	△199	△190	-
米ドル為替レート(円)	114	101	-	-
ユーロ為替レート(円)	163	137	-	-

当第3四半期連結会計期間(10～12月)の連結売上高は1,273億円と、前年同期と比べ434億円(25.4%)の減少となりました。

製品分野別でみると、すべての分野において売上高が前年同期と比べ減少、特に、コンピュータおよび周辺機器分野、自動車および産業機器分野、ディスクリット・光・マイクロ波においては、売上高が前年同期と比べ30%以上の大幅な減少となりました。

連結営業損益は162億円の損失で、前年同期と比べ192億円の悪化となりました。これは、連結売上高が前年同期と比べ大幅に減少したことなどによるものです。

連結税引前損益は201億円の損失で、前年同期と比べ218億円の悪化となりました。これは、連結営業損益が前年同期と比べ大幅に悪化したことに加え、国内試作ラインの閉鎖などにより営業外費用が28億円増加したことなどによるものです。

連結四半期純損益は199億円の損失で、前年同期と比べ190億円の悪化となりました。

(4) 当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の製品分野別連結売上高実績

当第3四半期連結会計期間(10～12月)の製品分野別の連結売上高は次のとおりです。

(単位 億円)

	前第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	当第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	前年同期比 増(減)	
			金額	率
通信機器分野	156	154	△2	△1.1%
コンピュータおよび周辺機器分野	301	170	△131	△43.5%
民生用電子機器分野	353	319	△34	△9.7%
自動車および産業機器分野	290	203	△87	△30.0%
多目的・多用途IC	219	158	△61	△27.7%
ディスクリート・光・マイクロ波	319	223	△96	△30.1%
半導体計	1,637	1,227	△411	△25.1%
その他	70	47	△24	△33.6%
合計	1,708	1,273	△434	△25.4%

◆ 通信機器分野 売上高 154億円(前年同期比1.1%減)

通信機器分野の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ2億円(1.1%)減少し、154億円となりました。

当分野には、ルータ、携帯電話基地局などのブロードバンド・ネットワーク機器向け半導体や携帯電話端末向け半導体が含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、携帯電話端末向けLCD(液晶ディスプレイ)ドライバICやメモリの売上が前年同期と比べ減少いたしました。

◆ コンピュータおよび周辺機器分野 売上高 170億円(前年同期比43.5%減)

コンピュータおよび周辺機器分野の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ131億円(43.5%)減少し、170億円となりました。

当分野には、サーバおよびワークステーション向け半導体やパソコンおよびパソコン周辺機器向け半導体が含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、液晶テレビやパソコン用モニタ向けLCDドライバICやDVD(デジタル多用途ディスク)ドライブ向けLSIの売上が前年同期と比べ減少いたしました。

◆ 民生用電子機器分野 売上高 319億円(前年同期比9.7%減)

民生用電子機器分野の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ34億円(9.7%)減少し、319億円となりました。

当分野には、家電製品向け半導体やゲーム機向け半導体が含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、デジタル家電向け半導体の売上が前年同期と比べ減少いたしました。

◆ 自動車および産業機器分野 売上高 203億円（前年同期比30.0%減）

自動車および産業機器分野の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ87億円(30.0%)減少し、203億円となりました。

当分野には、自動車向け半導体、FA(ファクトリー・オートメーション)機器などの産業機器向け半導体が含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、自動車向け半導体の売上、産業機器向け半導体の売上、双方ともに前年同期と比べ減少いたしました。特に自動車向け半導体については、従来からの北米市場の不振に加えて、日本および欧州市場向けにおいても市場の減速感が強まったことから、自動車向けマイクロコントローラの売上が前年同期と比べ減少いたしました。

◆ 多目的・多用途IC 売上高 158億円（前年同期比27.7%減）

多目的・多用途ICの当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ61億円(27.7%)減少し、158億円となりました。

当分野には汎用マイクロコントローラ、ゲートアレイ、多用途のSRAMなどが含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、市場環境悪化による需要減などにより、汎用マイクロコントローラ、ゲートアレイ、多用途SRAMの売上が、総じて前年同期と比べ減少いたしました。

◆ ディスクリート・光・マイクロ波 売上高 223億円（前年同期比30.1%減）

ディスクリート・光・マイクロ波の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ96億円(30.1%)減少し、223億円となりました。

当分野には、ダイオード、トランジスタなどのディスクリート半導体、光通信やDVD向け光半導体、携帯電話端末などに使用されるマイクロ波半導体が含まれます。

当第3四半期連結会計期間は、ディスクリート半導体や、光半導体、マイクロ波半導体など化合物半導体の売上が、市場環境悪化による需要減などにより前年同期と比べ減少いたしました。

◆ その他 売上高 47億円（前年同期比33.6%減）

その他の当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ24億円(33.6%)減少し、47億円となりました。

当分野には、主に当社の販売子会社が行っているLCDパネルの再販など、半導体以外の製品の販売事業が含まれます。

(5) 当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の所在地別連結売上高実績

当社あるいは当社の子会社の所在地別に分類した、当第3四半期連結会計期間(10～12月)の連結売上高は次のとおりです。

(単位 億円)

	前第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	当第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	前年同期比 増(減)	
日 本	931	796	△135	△14.5%
米 国	144	82	△62	△43.2%
欧 州	222	132	△90	△40.4%
ア ジ ア	412	264	△148	△36.0%
合 計	1,708	1,273	△434	△25.4%

(注) 当社の子会社の所在地において、日本および米国以外の各区分に属する国は以下のとおりです。

欧州：ドイツ、英国、アイルランド

アジア：中国、インドネシア、マレーシア、シンガポール、韓国、台湾

◆ 日 本 売上高 796億円 (前年同期比14.5%減)

日本では、DVDドライブ向けLSIやディスクリート半導体の売上が減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ135億円(14.5%)減少し、796億円となりました。

◆ 米 国 売上高 82億円 (前年同期比43.2%減)

米国では、汎用マイクロコントローラや携帯電話端末向けメモリの売上が減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ62億円(43.2%)減少し、82億円となりました。

◆ 欧 州 売上高 132億円 (前年同期比40.4%減)

欧州では、自動車向け半導体や汎用マイクロコントローラの売上が減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ90億円(40.4%)減少し、132億円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間の欧州における売上高に占める大部分は、ドイツに本社を置く子会社によるものであります。

◆ ア ジ ア 売上高 264億円 (前年同期比36.0%減)

アジアでは、液晶テレビやパソコン用モニター向けLCDドライバICやディスクリート半導体の売上が減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期と比べ148億円(36.0%)減少し、264億円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間の、中国に本社を置く子会社における売上高は、それぞれ229億円、146億円であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 総資産および株主資本

(連結財政状態)

(単位 億円)

	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前期末比 増(減)
総資産	6,163	5,794	△369
株主資本	2,271	1,969	△302
株主資本比率(%)	36.9	34.0	△2.9
1株当たり株主資本(円)	1,839	1,595	△245
有利子負債	1,166	1,170	4

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、5,794億円で、前期末と比べ369億円の減少となりました。これは、売上高が減少したことにより売掛金が減少したことなどによるものです。

株主資本は、1,969億円で、前期末と比べ302億円の減少となりました。これは、当第3四半期連結累計期間(4～12月)において連結四半期純損失を218億円計上したことや、主に為替相場の影響によりその他の包括損益累計額が84億円悪化したことなどによるものです。

株主資本比率は、株主資本が減少したことにより前期末と比べ2.9ポイント悪化しました。

有利子負債は、リース債務が増加したことなどにより、前期末と比べ4億円増加し、1,170億円となりました。

(2) 当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の連結キャッシュ・フロー

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位 億円)

	前第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	当第3四半期 連結会計期間 (10～12月)	前年同期比 増(減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	105	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	△72	75
フリー・キャッシュ・フロー	△10	33	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△13	1
為替相場変動の現金および現金同等物への影響額	△0	△35	△35
現金および現金同等物純増加(減少)額	△24	△15	9
現金および現金同等物期首残高	1,914	1,580	△333
現金および現金同等物期末残高	1,889	1,565	△324

当第3四半期連結会計期間(10～12月)の営業活動によるキャッシュ・フローは、連結四半期純損失の計上やたな卸資産の増加などがあったものの、売掛金の減少や、減価償却費等の計上額が174億円であったことなどにより、105億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入による支払が111億円であったものの、有形固定資産の売却による収入が43億円であったことなどにより、72億円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは33億円の収入となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により13億円の支出となりました。

以上に、為替相場の変動による現金および現金同等物の減少額35億円を考慮した、現金および現金同等物純増加(減少)額は15億円の減少となり、現金および現金同等物期末残高は1,565億円となりました。

なお、平成21年3月期第1四半期(4～6月)に係る連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信(平成20年7月30日開示)、平成21年3月期第2四半期(7～9月)に係る連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報については、平成21年3月期第2四半期決算短信(平成20年10月29日開示)をご参照ください。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社では、昨年度(平成20年3月期)後半からの経済環境の悪化により、顧客による在庫圧縮、発注抑制の傾向が強まる中、今年度(平成21年3月期)後半においても、このような厳しい事業環境がしばらく継続するものと見込み、平成20年10月21日に業績予想の下方修正を行いました。引き続き固定費削減など経営の効率化を実行するとともに、生産体制再編の加速を推進することにより、今年度通期での連結営業黒字化の達成に向け、全社一丸となって事業の運営をはかってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間(10～12月)の事業環境は、当社の想定を遙かに超えるレベルで悪化の一途を辿り、特に、昨年11月以降は、当社の主要顧客先である電気・電子機器業界や自動車業界における販売不振、生産調整に加え、部品の在庫調整も行われていることから、顧客の製品売上減を大幅に上回るレベルで半導体の需要が急激に減少しております。加えて、日本と欧米の金利差の縮小や、リスク回避通貨としての円通貨への選好により、対米ドルや対ユーロに対して円高が急速に進行し、平成7年8月以来13年ぶりに1米ドル80円台に突入するなど、当社も含めた輸出企業にとって非常に厳しい状況となりました。

年明け以降も、このような事業環境の悪化に改善の兆しはみられず、このような厳しい状況が今後もしばらくは継続するものと見込んでおります。

このような事業環境の悪化をふまえ、平成21年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり下方修正いたしました。売上高につきましては、前回(10/21発表)予想と比べ一部製品を除きほぼ全面的に厳しくなることを見込んでおりますが、特に、自動車分野、ディスクリットやマイコンといった汎用製品、液晶テレビやパソコン用モニタ向けのLCDドライバICの売上が大幅に減少するものと見込んでおります。損益につきましては、売上高の減少により、誠に遺憾ながら営業損益で550億円、当期純損益で650億円の損失になる見込みとなっております。

<平成21年1月29日公表数値>

平成21年3月期通期連結業績予想

(単位 百万円)

	売上高	半導体売上高	営業損益	税引前損益	当期純損益
前回(10/21発表)予想(a)	660,000	630,000	1,000	△4,000	△8,000
最新(1/29発表)予想(b)	555,000	530,000	△55,000	△62,000	△65,000
増減額(b-a)	△105,000	△100,000	△56,000	△58,000	△57,000
増減率(%)	△15.9	△15.9	—	—	—

なお、通期連結業績の見通しにあたり、第4四半期連結会計期間(平成21年1月1日～平成21年3月31日)の前提為替レートは、1米ドル90円(前回前提105円より変更)、1ユーロ125円(同145円より変更)としております。

当業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績は、今後の様々な要因の変化により、当業績見通しと乖離する可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（除外 2社）

① 福井日本電気株式会社

平成20年4月1日、当社の子会社である関西日本電気株式会社（同日、NECセミコンダクターズ関西株式会社に商号変更）に吸収合併されたことにより消滅。

② NECセミコンパッケージ・ソリューションズ株式会社

平成20年4月1日、当社の子会社である九州日本電気株式会社（同日、NECセミコンダクターズ九州・山口株式会社に商号変更）に吸収合併されたことにより消滅。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用 該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 平成20年4月1日以降、米国財務会計基準審議会基準書（以下、「基準書」という。）第157号「公正価値の測定」を適用しております。基準書第157号は、公正価値を定義し、公正価値を測定するための枠組みを確立するとともに、公正価値の測定に関する開示を拡大しております。基準書第157号の適用が当社グループの財政状態および経営成績に与える重要な影響はありません。基準書第157号の適用による詳細については決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

5. 四半期連結財務諸表(累計)

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	増(減)	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)
(資産の部)				
流動資産	344,115	315,087	△29,028	376,491
現金および現金同等物	165,472	156,496	△8,976	188,931
受取手形および売掛金	96,352	68,063	△28,289	92,604
たな卸資産	75,839	82,132	6,293	81,069
その他の流動資産	6,452	8,396	1,944	13,887
固定資産	272,189	264,302	△7,887	291,151
投資等	4,565	4,209	△356	5,672
有形固定資産	259,151	244,689	△14,462	273,760
その他の資産	8,473	15,404	6,931	11,719
資産合計	616,304	579,389	△36,915	667,642
(負債・資本の部)				
流動負債	179,715	171,304	△8,411	201,960
短期借入金	2,394	1,835	△559	17,659
支払手形および買掛金	108,136	110,883	2,747	118,261
その他の流動負債	69,185	58,586	△10,599	66,040
固定負債	204,275	205,978	1,703	201,754
社債および長期借入金	114,207	115,119	912	114,316
未払退職および年金費用	74,460	72,846	△1,614	69,672
その他の固定負債	15,608	18,013	2,405	17,766
少数株主持分	5,176	5,189	13	5,083
資本	227,138	196,918	△30,220	258,845
資本金	85,955	85,955	—	85,955
資本剰余金	281,073	281,081	8	281,065
利益剰余金	△114,896	△136,702	△21,806	△102,869
その他の包括損益累計額	△24,984	△33,405	△8,421	△5,296
自己株式	△10	△11	△1	△10
負債、少数株主持分および 資本合計	616,304	579,389	△36,915	667,642

有利子負債残高	116,601	116,954	353	131,975
株主資本比率	36.9%	34.0%	△2.9%	38.8%
D/E レシオ	0.51倍	0.59倍	0.08倍	0.51倍

【その他の包括損益累計額内訳】

・外貨換算調整額	1,913	△7,044	△8,957	8,942
・年金負債調整額	△27,737	△26,868	869	△15,870
・有価証券未実現損益	840	507	△333	1,632

(注) 連結貸借対照表の一部の金額について、平成20年12月末の表示に合わせて組替え再表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書(累計)

(第3四半期連結累計期間)

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前年同期比 増(減)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		対売上 高比率		対売上 高比率			対売上 高比率
		%		%			%
売 上 高	521,751	100.0	460,924	100.0	△60,827	687,745	100.0
売 上 原 価	365,186	70.0	331,330	71.9	△33,856	485,683	70.6
研 究 開 発 費	87,706	16.8	83,432	18.1	△4,274	112,300	16.3
販売費および一般管理費	64,005	12.3	61,199	13.3	△2,806	84,668	12.4
営 業 損 益	4,854	0.9	△15,037	△3.3	△19,891	5,094	0.7
営 業 外 収 益	5,179	1.0	3,295	0.7	△1,884	6,053	0.9
受取利息および配当金	1,621		1,422		△199	2,152	
雑 収 益	3,558		1,873		△1,685	3,901	
営 業 外 費 用	6,558	1.2	8,376	1.8	1,818	14,399	2.1
支 払 利 息	624		341		△283	741	
雑 損 失	5,934		8,035		2,101	13,658	
税 引 前 損 益	3,475	0.7	△20,118	△4.4	△23,593	△3,252	△0.5
法 人 税 等	6,859	1.3	1,670	0.3	△5,189	12,285	1.8
少数株主損益(控除)	246	0.1	163	0.0	△83	251	0.0
持分法による投資損益	△338	△0.1	145	0.0	483	△207	△0.0
四半期(当期)純損益	△3,968	△0.8	△21,806	△4.7	△17,838	△15,995	△2.3

(注) 当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しておりますが、営業損益は「売上高」から「売上原価」、「研究開発費」および「販売費および一般管理費」を差し引いたものを表示しております。

(3) 四半期連結資本勘定計算書(累計)

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	その他の 包括損益 累計額	自己株式	合計
期首残高	85,955	281,039	△98,901	△3,017	△8	265,068
ストック・オプションに係る報酬費用		26				26
包括損益						
四半期純損益			△3,968			△3,968
その他の包括損益(税効果調整後)						
外貨換算調整額				△1,560		△1,560
年金負債調整額				67		67
有価証券未実現損益				△786		△786
包括損益 合計						△6,247
自己株式の取得(取得原価)					△2	△2
四半期末残高	85,955	281,065	△102,869	△5,296	△10	258,845

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	その他の 包括損益 累計額	自己株式	合計
期首残高	85,955	281,073	△114,896	△24,984	△10	227,138
ストック・オプションに係る報酬費用		8				8
包括損益						
四半期純損益			△21,806			△21,806
その他の包括損益(税効果調整後)						
外貨換算調整額				△8,957		△8,957
年金負債調整額				869		869
有価証券未実現損益				△333		△333
包括損益 合計						△30,227
自己株式の取得(取得原価)					△1	△1
四半期末残高	85,955	281,081	△136,702	△33,405	△11	196,918

前連結会計年度(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	その他の 包括損益 累計額	自己株式	合計
期首残高	85,955	281,039	△98,901	△3,017	△8	265,068
ストック・オプションに係る報酬費用		34				34
包括損益						
当期純損益			△15,995			△15,995
その他の包括損益(税効果調整後)						
外貨換算調整額				△8,589		△8,589
年金負債調整額				△11,800		△11,800
有価証券未実現損益				△1,578		△1,578
包括損益 合計						△37,962
自己株式の取得(取得原価)					△2	△2
期末残高	85,955	281,073	△114,896	△24,984	△10	227,138

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計)

(第3四半期連結累計期間)

(単位 百万円)

項 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前年同期比 増(減)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
四半期(当期)純損益	△3,968	△21,806	△17,838	△15,995
営業活動により増加したキャッシュ(純額)への調整				
減価償却費等	55,762	50,354	△5,408	75,067
受取手形および売掛金の(増加)減少額	6,431	22,259	15,828	△3,710
たな卸資産の(増加)減少額	△3,048	△10,042	△6,994	856
支払手形および買掛金の増加(減少)額	△10,626	1,626	12,252	△17,309
その他	△1,778	△13,025	△11,247	4,353
計	42,773	29,366	△13,407	43,262
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産売却額	6,694	4,690	△2,004	20,653
有形固定資産購入額	△44,490	△33,261	11,229	△62,188
貸付金の(増加)減少額	△7	2	9	△2
その他	4,304	△2,000	△6,304	3,768
計	△33,499	△30,569	2,930	△37,769
フリー・キャッシュ・フロー(I+II)	9,274	△1,203	△10,477	5,493
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
社債および借入金の増加(減少)額	△4,321	△1,514	2,807	△20,456
その他	△1,952	△2,149	△197	△2,529
計	△6,273	△3,663	2,610	△22,985
為替相場変動の現金および現金同等物への影響額	558	△4,110	△4,668	△2,408
現金および現金同等物純増加(減少)額	3,559	△8,976	△12,535	△19,900
現金および現金同等物期首残高	185,372	165,472	△19,900	185,372
現金および現金同等物期末残高	188,931	156,496	△32,435	165,472

(5) セグメント情報(累計)

(第3四半期連結累計期間)

① 製品分野別売上高

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			前年同期比 増(減)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)			構成比 (%)
通信機器分野	53,364	10.2	48,098	10.5	△9.9	△5,266	70,350	10.2
コンピュータおよび周辺機器分野	92,230	17.7	77,564	16.8	△15.9	△14,666	119,352	17.4
民生用電子機器分野	102,827	19.7	95,899	20.8	△6.7	△6,928	134,546	19.6
自動車および産業機器分野	84,098	16.1	78,820	17.1	△6.3	△5,278	113,320	16.5
多目的・多用途IC	69,334	13.3	59,993	13.0	△13.5	△9,341	89,643	13.0
ディスクリート・光・マイクロ波	95,979	18.4	80,651	17.5	△16.0	△15,328	126,064	18.3
半導体計	497,832	95.4	441,025	95.7	△11.4	△56,807	653,275	95.0
その他	23,919	4.6	19,899	4.3	△16.8	△4,020	34,470	5.0
合計	521,751	100.0	460,924	100.0	△11.7	△60,827	687,745	100.0

<参考> プラットフォーム別売上高

当社は、製品分野別売上高に加えて、事業特性の類似するプラットフォーム別の売上高も開示しております。

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			前年同期比 増(減)	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)			構成比 (%)
S o C プラットフォーム	192,172	36.8	183,495	39.8	△4.5	△8,677	251,295	36.5
M C U プラットフォーム	135,335	25.9	120,991	26.3	△10.6	△14,344	180,113	26.2
個別半導体	170,325	32.7	136,539	29.6	△19.8	△33,786	221,867	32.3
半導体計	497,832	95.4	441,025	95.7	△11.4	△56,807	653,275	95.0
その他	23,919	4.6	19,899	4.3	△16.8	△4,020	34,470	5.0
合計	521,751	100.0	460,924	100.0	△11.7	△60,827	687,745	100.0

(注)

S o C (システム・オン・チップ) プラットフォーム: A S I C (特定用途向け集積回路)、A S S P (特定用途向け標準品)、メモリ
M C U (マイクロコンピュータ) プラットフォーム: マイクロコントローラ、カーオーディオコントローラ
個別半導体: 表示ドライバ、アナログ I C、ディスクリート半導体、化合物半導体

②所在地別売上高

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)		構成比 (%)
日 本	278,498	53.4	253,978	55.1	△8.8	370,238	53.8
米 国	44,747	8.6	32,157	7.0	△28.1	58,256	8.5
欧 州	70,940	13.6	60,306	13.1	△15.0	95,936	14.0
ア ジ ア	127,566	24.4	114,483	24.8	△10.3	163,315	23.7
合 計	521,751	100.0	460,924	100.0	△11.7	687,745	100.0

③所在地別営業損益

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増(減) (百万円)		構成比 (%)
日 本	△4,985	—	△18,674	—	△13,689	△9,386	—
米 国	29	—	△2,460	—	△2,489	755	—
欧 州	545	—	745	—	200	2,023	—
ア ジ ア	9,265	—	5,352	—	△3,913	11,702	—
合 計	4,854	—	△15,037	—	△19,891	5,094	—

6. 四半期連結財務諸表(3か月)

(1) 四半期連結損益計算書(3か月)

(第3四半期連結会計期間)

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		前年同期比 増(減)
		対売上 高比率		対売上 高比率	
売 上 高	170,778	100.0	127,336	100.0	△43,442
売 上 原 価	116,435	68.2	97,351	76.5	△19,084
研 究 開 発 費	30,021	17.6	26,712	21.0	△3,309
販売費および一般管理費	21,320	12.4	19,516	15.3	△1,804
営 業 損 益	3,002	1.8	△16,243	△12.8	△19,245
営 業 外 収 益	891	0.5	1,169	0.9	278
受取利息および配当金	575		399		△176
雑 収 益	316		770		454
営 業 外 費 用	2,249	1.3	5,037	3.9	2,788
支 払 利 息	152		113		△39
雑 損 失	2,097		4,924		2,827
税 引 前 損 益	1,644	1.0	△20,111	△15.8	△21,755
法 人 税 等	2,516	1.5	△250	△0.2	△2,766
少数株主損益(控除)	60	0.0	38	0.0	△22
持分法による投資損益	△4	△0.0	0	0.0	4
四 半 期 純 損 益	△936	△0.5	△19,899	△15.6	△18,963

(注) 当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しておりますが、営業損益は「売上高」から「売上原価」、「研究開発費」および「販売費および一般管理費」を差し引いたものを表示しております。

(2) 四半期連結資本勘定計算書(3か月)

前第3四半期連結会計期間(平成19年10月1日～平成19年12月31日)

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	その他の 包括損益 累計額	自己株式	合計
四半期首残高	85,955	281,056	△101,933	△4,009	△9	261,060
ストック・オプションに係る報酬費用		9				9
包括損益						
四半期純損益			△936			△936
その他の包括損益(税効果調整後)						
外貨換算調整額				△640		△640
年金負債調整額				187		187
有価証券未実現損益				△834		△834
包括損益 合計						△2,223
自己株式の取得(取得原価)					△1	△1
四半期末残高	85,955	281,065	△102,869	△5,296	△10	258,845

当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	その他の 包括損益 累計額	自己株式	合計
四半期首残高	85,955	281,081	△116,803	△25,406	△10	224,817
包括損益						
四半期純損益			△19,899			△19,899
その他の包括損益(税効果調整後)						
外貨換算調整額				△8,493		△8,493
年金負債調整額				289		289
有価証券未実現損益				205		205
包括損益 合計						△27,898
自己株式の取得(取得原価)					△1	△1
四半期末残高	85,955	281,081	△136,702	△33,405	△11	196,918

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(3か月)

(第3四半期連結会計期間)

(単位 百万円)

項 目	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	前年同期比 増(減)
<u>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</u>			
四半期純損益	△936	△19,899	△18,963
営業活動により増加したキャッシュ(純額)への調整			
減価償却費等	19,084	17,361	△1,723
受取手形および売掛金の(増加)減少額	7,513	21,393	13,880
たな卸資産の(増加)減少額	△1,192	△3,650	△2,458
支払手形および買掛金の増加(減少)額	△8,938	3,074	12,012
その他	△1,886	△7,747	△5,861
計	13,645	10,532	△3,113
<u>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</u>			
有形固定資産売却額	938	4,295	3,357
有形固定資産購入額	△15,081	△11,094	3,987
貸付金の(増加)減少額	△7	2	9
その他	△514	△404	110
計	△14,664	△7,201	7,463
フリー・キャッシュ・フロー(Ⅰ+Ⅱ)	△1,019	3,331	4,350
<u>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</u>			
社債および借入金の増加(減少)額	△725	△398	327
その他	△680	△938	△258
計	△1,405	△1,336	69
為替相場変動の現金および現金同等物への影響額	△12	△3,528	△3,516
現金および現金同等物純増加(減少)額	△2,436	△1,533	903
現金および現金同等物期首残高	191,367	158,029	△33,338
現金および現金同等物期末残高	188,931	156,496	△32,435

(4) セグメント情報(3か月)

(第3四半期連結会計期間)

① 製品分野別売上高

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)			前年同期比 増(減)
		構成比 (%)	構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)		
通信機器分野	15,615	9.1	15,442	12.1	△1.1	△173
コンピュータおよび周辺機器分野	30,138	17.6	17,013	13.4	△43.5	△13,125
民生用電子機器分野	35,277	20.7	31,872	25.0	△9.7	△3,405
自動車および産業機器分野	28,950	17.0	20,252	15.9	△30.0	△8,698
多目的・多用途IC	21,891	12.8	15,817	12.4	△27.7	△6,074
ディスクリート・光・マイクロ波	31,871	18.7	22,268	17.5	△30.1	△9,603
半導体計	163,742	95.9	122,664	96.3	△25.1	△41,078
その他	7,036	4.1	4,672	3.7	△33.6	△2,364
合計	170,778	100.0	127,336	100.0	△25.4	△43,442

<参考> プラットフォーム別売上高

当社は、製品分野別売上高に加えて、事業特性の類似するプラットフォーム別の売上高も開示しております。

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)			前年同期比 増(減)
		構成比 (%)	構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)		
S o C プラットフォーム	63,687	37.3	55,689	43.7	△12.6	△7,998
M C U プラットフォーム	44,854	26.3	31,300	24.6	△30.2	△13,554
個別半導体	55,201	32.3	35,675	28.0	△35.4	△19,526
半導体計	163,742	95.9	122,664	96.3	△25.1	△41,078
その他	7,036	4.1	4,672	3.7	△33.6	△2,364
合計	170,778	100.0	127,336	100.0	△25.4	△43,442

(注)

S o C (システム・オン・チップ) プラットフォーム: A S I C (特定用途向け集積回路)、A S S P (特定用途向け標準品)、メモリ
M C U (マイクロコンピュータ) プラットフォーム: マイクロコントローラ、カーオーディオコントローラ
個別半導体: 表示ドライバ、アナログ I C、ディスクリート半導体、化合物半導体

②所在地別売上高

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増減率 (%)
日 本	93,095	54.5	79,623	62.5	△14.5
米 国	14,363	8.4	8,157	6.4	△43.2
欧 州	22,160	13.0	13,203	10.4	△40.4
ア ジ ア	41,160	24.1	26,353	20.7	△36.0
合 計	170,778	100.0	127,336	100.0	△25.4

③所在地別営業損益

(単位 百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 増(減) (百万円)
日 本	△691	—	△14,151	—	△13,460
米 国	142	—	△1,823	—	△1,965
欧 州	250	—	△489	—	△739
ア ジ ア	3,301	—	220	—	△3,081
合 計	3,002	—	△16,243	—	△19,245

7. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

平成21年3月期 第3四半期連結決算概要

【第3四半期連結累計期間】（平成20年4月1日から平成20年12月31日の9か月間）

	平成20年3月期 前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		平成21年3月期 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前年同期比 増(減)	
	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	5,218	100.0	4,609	100.0	△608	△11.7
半導体売上高	4,978		4,410		△568	△11.4
営業損益	49	0.9	△150	△3.3	△199	—
税引前損益	35	0.7	△201	△4.4	△236	—
四半期純損益	△40	△0.8	△218	△4.7	△178	—
1株当たり四半期純損益	円		円		円	%
基本的	△32.13		△176.57		△144.44	—
希薄化後	△32.13		△176.57		△144.44	—

設備投資額	380		394		15	3.8
減価償却費等	558		504		△54	△9.7
研究開発費	877		834		△43	△4.9
米ドル為替レート(円)	118		104			
ユーロ為替レート(円)	162		154			

【第3四半期連結会計期間】（平成20年10月1日から平成20年12月31日の3か月間）

	平成20年3月期 前第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		平成21年3月期 当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		前年同期比 増(減)	
	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	1,708	100.0	1,273	100.0	△434	△25.4
半導体売上高	1,637		1,227		△411	△25.1
営業損益	30	1.8	△162	△12.8	△192	—
税引前損益	16	1.0	△201	△15.8	△218	—
四半期純損益	△9	△0.5	△199	△15.6	△190	—
1株当たり四半期純損益	円		円		円	%
基本的	△7.58		△161.13		△153.55	—
希薄化後	△7.58		△161.13		△153.55	—

設備投資額	108		114		7	6.2
減価償却費等	191		174		△17	△9.0
研究開発費	300		267		△33	△11.0
米ドル為替レート(円)	114		101			
ユーロ為替レート(円)	163		137			

	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前期末比 増(減)		前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)
	金額	金額	率	率	
総資産	6,163	5,794	△369	△6.0	6,676
株主資本	2,271	1,969	△302	△13.3	2,588

従業員数	23,110	23,184	74	0.3	23,887
------	--------	--------	----	-----	--------

(注) ①億円未満を四捨五入して表示しております。

②当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しておりますが、営業損益は「売上高」から「売上原価」、「研究開発費」および「販売費および一般管理費」を差し引いたものを表示しております。

③1株当たり四半期純損益は米国財務会計基準書第128号「1株当たり利益」に基づいて算出しております。

④株主資本の金額は、「米国会計基準」に基づいて表示しております。

⑤本四半期決算概要に記載された平成21年3月期第3四半期の連結財務情報につきましては、会計監査人による四半期レビューが終了していません。

今後、後発事象等の発生または会計監査人による四半期レビューにより数値に変更が生じる場合があります。その場合は、速やかに訂正のプレスリリースをいたします。

⑥設備投資額は、有形固定資産(ソフトウェアを除く)取得額を表示しております。

〔将来予測に関する注意〕

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下NECエレクトロニクスと総称します。）の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)NECエレクトロニクスの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるNECエレクトロニクスの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECエレクトロニクスが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因があります。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。
